

やってみよう

一次の——線部の単語の中で、他の三つと使い方や意味が異なるものをつつ選んで、それぞれ記号で書きなさい。

- | | | | |
|---|--------------------------|---|--------------------------|
| 1 | ア 僕の父は医者だ。 | 2 | ア 母にほめられる。 |
| | イ 姉は食べるのが好きだ。 | | イ 記念碑が建てられる。 |
| | ウ 母の職場はこの近くです。 | | ウ 人に呼び止められる。 |
| | エ 弟の友達と遊んだ。 | | エ 私にも答えられる。 |
| | <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> |
| 3 | ア 今にも雪が降りそうだ。 | 4 | ア この像はまるで生きているようだ。 |
| | イ 彼はもうすぐ到着しそうだ。 | | イ あの人が持っているようだ。 |
| | ウ 明日は雨が降るそうだ。 | | ウ この川に魚がいるようだ。 |
| | エ この部屋は暖かそうだ。 | | エ 母が買い物から帰ってきたようだ。 |
| | <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> |

二次の文章を読んで下の1から3の問いに答えなさい。

① あるお寺に小僧さんがいました。その小僧さんが、夜遅くに庭で長いさおを空に向けて振り回していました。それをお寺の和尚さんが見つけて、「何をしているのか。」と尋ねられました。そこで小僧さんは「大空の星がほしくて、このさおで取ろうとしています。」と答えます。取れません。」と答えました。

すると和尚さんは「なんと鈍いやつだ。そんなことで星が取れるわけなからう。そこからではさおがとどくまい。」と A 【】とおっしゃいました。

小僧の愚かさはともかくとしましても、和尚の教えはめったにないものでした。

安楽庵策伝『醒睡笑』より

1 線部①～③の単語の品詞名を書きなさい。

③	②	①
---	---	---

2 ——線部ア～エの「が」の中で他の三つと使い方が違う者をつつ選んで記号で答えなさい。

3 この話が笑い話になるように、【A】に入るセリフを記号で選びなさい。

- ア あきらめなさい。
 イ 早く寝なさい。
 ウ 屋根に上がりなさい。
 エ よく考えなさい。